

ホッとさせる情報をお届けします!

リフォームたもつ

2021.3月号



# たもつくん通信



## 社長のひとりごと 自分の町にはなにもない?の巻



こんにちは! 『リフォームたもつ』の保坂です。ようやく芽吹き季節の三月になりましたね。今年の一・二月は、雪が非常に多かったですね。先月の中旬の荒天では、悪夢の一月を彷彿させる天候でした。これから春の穏やかな日が続き、落ち

ち着いたいつもの日常を過ごせそうですね。先日、銀行主催の若手経営者の勉強会があり参加してきました。当然、感染症対策を十分に行っている開催でしたが、この様な形が標準化していき最初の頃の違和感がなくなっていることに気付きました。

さて、勉強会の内容ですが、えちごトキめき鉄道の鳥塚社長の講演でした。千葉県の『いすみ鉄道』社長時代の取り組みや営業の裏話、仕事をする上での考え方など、実体験に基づいた話をしていただきました。その中でも印象に残ったことは、町の活性化に於いて、『自分の町には、何もない』という人が多くいるが、はたしてそれは本当なのか? 自分の町の良さや必要性を理解しているのか? その中にある人には当たり前モノでも、その外側の人からは、まったく違ったモノに見えているとのこと。例えば、列車の中から車外の田んぼの畔にできている人だかりを写した写真を見せてもらいました。本当に何もない田んぼの真ん中です。実は、『いすみ鉄道』観光ポス

ターの撮影スポットだそうです。鉄道マニアの撮り鉄は、それと同じ風景を撮りたいのだとか。



この話を聞いたとき、兵庫県の『日本のマチユピチュ』で有名な竹田城址を思い出しました。この竹田城址の観光ポスターも非常に幻想的なポスターですが、ポスターと同じ光景を見るには隣の山麓に行かないと見れないのです。ポイントは、いくつかありますが、日常では当たり前風景が、少し視点を変えるだけでとても価値のあるものに変わるという事例でした。これは、我々の日常生活においても、無理だとか、難しいとか考える前に、どうすればできる? という前向きな思考で物事に取り組めば、必ず何かが変わってくるということでした。簡単なようで難しいですが、僕も前向き思考で行動するようにしなければと考えさせられました。

冒頭でも話に触れましたが、台風並みの大風で大雪が続いたこの冬期間での皆さんの住宅のダメージ具合は、どうだったでしょうか? 雪解け後に修繕でリフレッシュして新しい季節を迎えましょう。どんな些細なことでも喜んで『リフォームたもつ』がお手伝い致します。

## 会津坂下 リフレッシュしてきました!の巻



こんにちは! 店長の石野です。今回は冬の只見線で会津へ訪問する予定でしたが日程が合わず、車で行って来ました。前から寄ってみたかった会津坂下の山内屋商店さんへ伺いました。二代目がやっている懐かしい雑貨屋さんです。

私の世代にはどれも懐かしく「これ知ってる、使ってた」という物ばかりでした。翌日は奥会津でゆっくりと温泉に浸かり、なんと帰りは高速道路を使わずに下道をひたすら走って戻って来ました。磐越道がなかった頃には何回か通った道、ここでも昭和を

感じました。お陰でしっかり充電できました。明日からまた仕事頑張るぞ!

